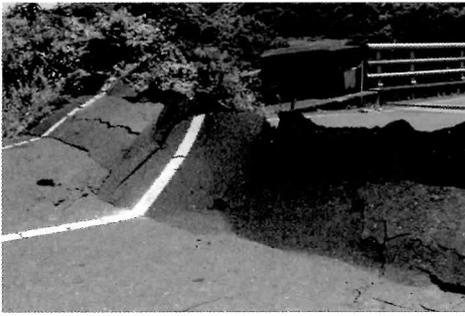


## 地震による災害

地震災害で犠牲者が出る主な原因は何か？との問いで、真っ先に思い浮かぶのが大きな揺れによる家屋の倒壊ではないでしょうか。

阪神・淡路大震災（兵庫県南部地震）では、犠牲者のほとんどが家屋の倒壊による圧死でしたが、それ以外の原因でも犠牲者が出た地震があります。平成20年に発生した岩手・宮城内陸地震です。この地震の被害原因は、山間部で発生したため、がけ崩れや土石流が家を押し流したことによるものでした。山林の面積が全体の85%を占める本市では、山が深く、急傾斜で、沢がた



岩手・宮城内陸地震における災害

(写真出典：首都大学東京都市環境学部土質研究室 <http://geot.civil.metro-u.ac.jp/archives/eq/08iwatemiyagi/index.html>)

## マグニチュードと震度の違い

マグニチュードは地震そのもののエネルギーの大きさのことで、震度はそれぞれの場所のゆれ方の度合いのことです。

マグニチュードは、地震のエネルギーと関係し、マグニチュードが1増えると地震のエネルギーは約30倍になります。

マグニチュード7以上の地震を大地震、5～7までを中地震、3～5までを小地震、1～3までを微小地震、1以下を極微弱地震と言います。

### 《主な地震のマグニチュード》

- 阪神・淡路大震災(マグニチュード 7.3)
- 関東大震災(マグニチュード 7.9)

## 地震対策

■家の建っている地盤や周辺状況のチェック

軟弱な地盤は、地震の際に被害が大きくなります。自宅のある場所の近所の状況を知り、的確な被害防止対策を立てることが重要です。

■ブロック塀や石垣などの状態をチェック

老朽化したブロック塀や石垣は補修したり、生垣に変えるなどの対策をしましょう。

■ガラスの飛散防止

阪神・淡路大震災では、ガラスの飛散による負傷者が出ています。強化ガラスなどに取り替えたり、ガラス飛散防止フィルムを貼ったりすることで防げます。

■火気器具のチェック

日ごろから火気器具の点検や修理を行い、周囲には燃えやすいものを置かないようにしましょう。

■家の中の状態チェック

廊下や部屋の出入り口には物を置かないようにしましょう。タンスや棚の上には重い物を置かないようにしましょう。

落下物やガラス片などから身を守るため、寝室や居間などにスリッパなどの履物を用意しましょう。

## 調べてみよう!! 住まいの耐震性 無料耐震診断を行っています!

対象 次のすべてを満たす住宅が対象となります。

○昭和56年3月31日以前に着工された木造在来工法で建築された住宅

○木造の個人住宅で、かつ、2階建以下の住宅

※長屋及び共同住宅以外の住宅

○所有者が市内に住所を有し、かつ自らが居住している住宅

※この診断により、補強の必要があると診断された住宅で耐震改修する方は、補助金が受けられます。詳細は、お問い合わせください。

問合せ先 基盤整備課 建築住宅担当

家具や大型家電製品などが転倒しないよう金具などで固定しましょう。

非常持ち出し品を整理しておきましょう(次ページ「非常用持ち出しリスト」をご参考ください)。

風呂の水は抜かないで溜めておきましょう。